

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （商品企画担 当）	来客数の動き	・ここ3か月間、個人旅行が好調で客室稼働率はすべて前年同月を上回り、12月においては約10%上回る見込みである。クリスマスの時期も好調である。
	やや良く なっている	百貨店（担当 者）	販売量の動き	・主力衣料においては天候が好影響を与えている月である。先月以来好調の食品、住居ほか例年よりも1ほど低い気温により、防寒衣料が月間を通して好調である。またここ数年間苦戦傾向の継続している紳士衣料が前年同月比120%弱と大幅に伸び、衣料全体をけん引している。またお歳暮ギフトにおいても11月に予測したように、県内より撤退した量販店の影響があった客数、販売点数共に10%強の伸びである。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・先月に引き続き、既存店ベースで前年をクリアできる。トータルでも大幅に前年を上回り売上が好調に推移している。来客数、売上点数の増加が好調の主要因である。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・近隣の大手スーパーが店仕舞いしたために、来客数が増加、単価も上昇している。また寒さが厳しいため、中華まん、ホットドリンク、おでんの売上が増加している。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・自店、競合店、共に販売台数の増加がみられる。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の9月は前年同月比で119.2%と高い月であった。今月は12月25日現在で前年同月比111.2%と若干低い。しかし県外からの入域客数は好調で、近隣の他施設においては9月よりも利用率が高くなっている所もあり、12月の入域客数は記録的な数字になる。来園者は、前半は一般団体、修学旅行、後半は家族旅行、カップル等が中心である。
		ゴルフ場（経営 者）	単価の動き	・客数については前年同月とほとんど変わらないが、単価が上がっている。
変わらない	スーパー（経営 者）	お客様の様子	・ここ数か月の相次ぐ競合店の出店により、来客数に多少の影響が出ている。	
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・クリスマスケーキやお歳暮ギフト等の年末商材が昨年並みの販売数であるところをみると、消費動向は落ちていない。ただ昨年より単価の低い商品の割合が増えた結果となっている。
	家電量販店（従 業員）	販売量の動き	・年末需要であり、売上そのものは好調であるが、過去3か月と比べてもあまり伸びはない。	
	その他専門店 〔書籍〕（店 長）	来客数の動き	・大型店や立地の良い店舗に客の流れができており、地域に昔からある小さな店舗にはほとんど客が流れてこない傾向にある。年末年始の多忙期にもかかわらず来客数が少ない店がある。	
	その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	お客様の様子	・観光が好調だが、リピーターが増加している気配がある。売上が店舗、商品ごとにばらつきがある。今年は寒さと強風で地元客数が伸び悩んでいる。例年並みがやっとである。	
	観光型ホテル （営業担当）	お客様の様子	・客が価格に敏感になり、年末年始の高価格の時期を外して料金の安くなる日に予約が集中しているため、その結果売上が伸びない。	
やや悪く なっている	一般小売店〔衣 料品・雑貨〕 （経営者）	販売量の動き	・売上が前年同月比90%と減少しているが、要因として来店者数の減少と、前年度より気温が低いことによるメインの商材であるTシャツ売上の減少が挙げられる。	
	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・12月は期間変動の高い月であるが、宴会予約が週末に集中していて、今年は異常なほど平日の宴会予約が少ない。師走のにぎわいが通りに無い。	
	都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・12月は忘年会シーズンで、飲食部門の稼働が良いが、反面宿泊利用が伸び悩んでいる。また、クリスマスディナーショーの集客に予想以上に苦戦している。景気回復の兆しが見え始めたとはいえ、実際には一般消費者の財布のひもは固い。	

	悪く なっている	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・競争相手の倒産や会社の整理、または建設業界からの撤退の準備が相次いでおり、景気は極端に悪くなっている。公共工事削減の影響は、沖縄においては大変なものである。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・大口案件を受注したが、年末の繁忙期と重なり現場は苦戦している。しかし売上は増加、社員の士気は上がり無事年末を迎えられそうである。
	変わらない	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が横ばいである。
		通信業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・動きに変化は無い。受注価格帯は低水準をキープしている。
		不動産業(支店長)	受注量や販売量の動き	・問い合わせや、契約、売上が横ばいである。
	やや悪く なっている	食料品生産業 (財務総務担当)	受注量や販売量の動き	・お歳暮向けにギフトセットを販売しているが、宅配伝票の数量などが昨年と比べて減少している。
悪く なっている	-	-	-	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・3か月前に比べると確実に派遣依頼は多くなっているが、紹介予定派遣が多く、長期で利益を出せる状況ではない。
		求人情報誌製作 会社(営業担当)	求人数の動き	・企業からの求人数が沖縄県内、県外共に伸びている。
		学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・県内、県外企業共に求人活動は活発で、特に県外企業に関しては平成19年3月卒業生対象の求人が多数寄せられており、企業の積極的な採用活動がみられる。
		学校[大学] (就職担当)	求人数の動き	・2007年問題に関する前倒し採用はまだ続いている。観光業、ホテル業の雇用も好調さを反映して楽観的なムードがある。
	変わらない	職業安定所(職員)	求人数の動き	・8月と比較すると、新規求人数は2.4%減の3,490人である。一般求人は2.9%増で2,834人(構成比81.2%)である。パート求人は20.2%減の656人(構成比18.8%)である。11月の新規求人は建設、飲食、宿泊、サービス、情報通信で増加した一方で運輸、卸売・小売、金融・保険、不動産、医療で大幅に減少している。ホテル関係の求人は好調な観光産業を受けて特に増えている。有効求人倍率は0.03ポイント上昇し0.51倍である。就職件数は2.0%増加の1,264人である。
やや悪く なっている	-	-	-	
悪く なっている	-	-	-	-